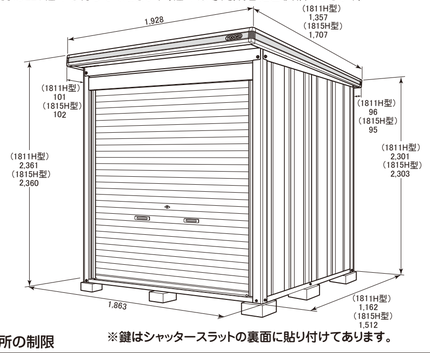
ヨド物置 エルモ シャッター

単棟型〈床タイプ〉組立説明書 LOD(U)-1811HF型・1815HF型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。

※この組立説明書は1815の図で説明しています。1811の場合も組立手順は同じです。
よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者にご依頼ください。)



(寸法の単位はmm)

※鍵はシャッタースラットの裏面に貼り付けてあります。

●設置場所の制限

⚠注意

1.建物の屋上には設置しないでください。
2.バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
3.大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
4.塵のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
5.給湯器の前には設置しないでください。

●施工前の注意点

⚠注意

1.アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
2.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
3.重い部材・梱包の運搬や梱代の際は2名以上で行ってください。
4.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
5.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
6.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

梱包組合せ表

機 種			1811型	1815型
部品			L05-0102	L05-0102
枠	上枠前後	一般	L05-0204	L05-0204
		豪雪	L05-0224	L05-0224
	下枠前後		L05-0254	L05-0254
	上枠左右		LM5-0302	LM5-0303
	下枠左右		LM5-0352	LM5-0353
	柱		L05-0411	L05-0411
間柱	一般型		L05-1467	L05-1468
	豪雪型		L05-1487	L05-1488
鼻隠し			LM5-1104	LM5-1104
補強	一般型		LM5-0521	LM5-0521
	豪雪型		L05-3521	L05-3521

機 種		1811型	1815型
床		LM5-0707	LM5-0714
屋根		LM5-0912	LM5-0923
壁		LM5-1014	LM5-1013
		LM5-1031	LM5-1013
		LM5-1032	LM5-1031
シャッター		L05-1731	L05-1731
		L05-1732	L05-1732
棚板		LM5-1903	LM5-1903
合計	一般型	17	17
	積雪型	17	17

梱包内容表

●部品
L05-0102 1811・1815

部材名	数量
ボルトM6×15(白)	163 (8)
ボルトM8×21	5 (1)
ナットM6-16用	5 (1)
ELD アンカープレート(L)	4
ELD 屋根隙間隠し A	2
ELD 屋根隙間隠し B	1
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書5年	1

※( )内は予備

●上枠前後
L05-0204 1811・1815

部材名	数量
LOD 上枠前 A2.5	1
ELD 上枠後 A2.5	1

L05-0224 1811・1815

部材名	数量
LOD 上枠前 A2.5	1
ELD 上枠後 A2.5	1
LOD 上枠前補強 A2.5U	1

●下枠前後
L05-0254 1811・1815

部材名	数量
LOD 下枠前 YK A2.5	1
ELD 下枠後 A2.5	1
ELD 床押え A2.5	2

●上枠左右
LM5-0302 1811

部材名	数量
ELD 上枠左 A1.5	1
ELD 上枠右 A1.5	1

LM5-0303 1815

部材名	数量
ELD 上枠左 A2.0	1
ELD 上枠右 A2.0	1

●下枠左右
LM5-0352 1811

部材名	数量
ELD 下枠側 A1.5 左	1
ELD 下枠側 A1.5 右	1

LM5-0353 1815

部材名	数量
ELD 下枠側 A2.0 左	1
ELD 下枠側 A2.0 右	1

●柱
L05-0411 1811・1815

部材名	数量
LOD 柱前 YK 左	1
LOD 柱前 YK 右	1
ELD 柱後 H	2
LOD 柱前補強カバー YK 左	1
LOD 柱前補強カバー YK 右	1

●間柱
L05-1467 1811

部材名	数量
ELD 間柱側 中 1.5 H	2
ELD 間柱後 H	2

L05-1468 1815

部材名	数量
ELD 間柱側 中 2.0 H	2
ELD 間柱後 H	2

L05-1487 1811

部材名	数量
LOD 間柱側 U 中 1.5H	2
ELD 間柱後 H	2

L05-1488 1815

部材名	数量
LOD 間柱側 U 中 2.0H	2
ELD 間柱後 H	2

●鼻隠し
LM5-1104 1811・1815

部材名	数量
ELD 鼻隠し前 A2.5	1
ELD 鼻隠し後 A2.5	1

●補強
LM5-0521 1811・1815

部材名	数量
ELD もや A-A2.5 DLN	1
ELD 床補強 A2.5	1

L05-3521 1811・1815

部材名	数量
LOD もや C-A2.5U DLU	1
ELD 床補強 A2.5	1

●床
LM5-0707 1811

部材名	数量
ELD 床板 A1.5	5

LM5-0714 1815

部材名	数量
ELD 床板 A2.0	5

●屋根
LM5-0912 1811

部材名	数量
ELD 屋根 (35) A1.5	1
ELD 屋根 (70) A1.5	2

LM5-0923 1815

部材名	数量
ELD 屋根 (35) A2.0	1
ELD 屋根 (70) A2.0	2

●壁
LM5-1013 1815

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	3

LM5-1014 1811

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	4

LM5-1031 1811・1815

部材名	数量
ELD 壁パネル H- F	1

LM5-1032 1811

部材名	数量
ELD 壁パネル H- F	2

●シャッター
L05-1731 1811・1815

部材名	数量
シャッターシャフト A2.5 <床> (芯元2個、スラット9枚付)	1
LOD シャッターレール YK 左	1
LOD シャッターレール YK 右	1
シャッタープラケット 左	1
シャッタープラケット 右	1
フック棒 L=600mm	1
LOD 前板 A2.5	1

L05-1732 1811・1815

部材名	数量
外袋付スラット A2.5 <床> (スラット14枚、外袋付スラット1枚)	1
水切り付スラット A2.5 (床) (スラット9枚、手掛け付スラット1枚)	1

●棚板
LM5-1903 1811・1815

部材名	数量
ELC 棚板 A2.0N	2
ELC 棚受 N 左	3
ELC 棚受 N 右	3

○部材名称にはA1.5, A2.0, A2.5等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略しております。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

●施工時の注意点

1.まず御注文通りの商品かどうかを梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
3.部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取り付けてください。
4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの乳位置を合わせてください。
5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
6.シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくご確認の上、組立を行ってください。

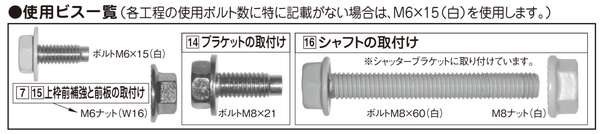
●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

・コンクリートブロック 個数は1基礎施工を参照ください。
(幅19㎝(39㎝)×長さ19㎝×厚さ10㎝が適当です。)
・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)※土の上に設置する場合に必要です。
・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上)4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立に必要なもの(事前にご準備ください。)

・軍手 ・水準器 ・脚立 ・M6・M8ボルト・アンカーボルトの締結用のスパナまたはモンキー、ペンチ等工具、サゲフリ

●使用ビス一覧(各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。)



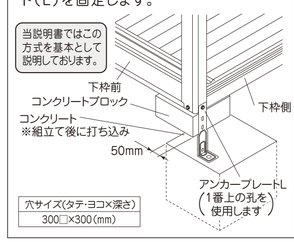
●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

注意 内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。

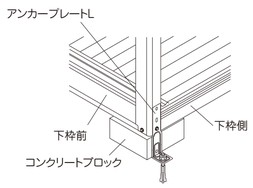
《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。



《コンクリート床の上に設置する場合》

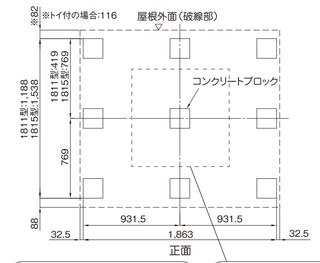
オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12-70以上で)で固定してください。



⚠注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

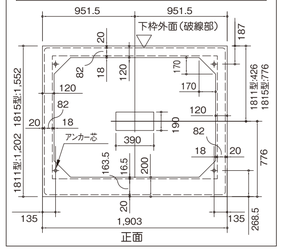
1 基礎施工(詳細図面は当社のホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)

①設置場所の地ならし、地固めを行います。
②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)



(参考)布基礎の場合

⚠注意 この組立説明書はコンクリートブロックを用いて基礎施工を行った場合について説明しております。布基礎による場合は内アンカーセットが別途必要です。(オプション 梱包番号:LM5-6741)



注意 基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない・シャッターがスムーズに動かない。・鍵が掛からない。

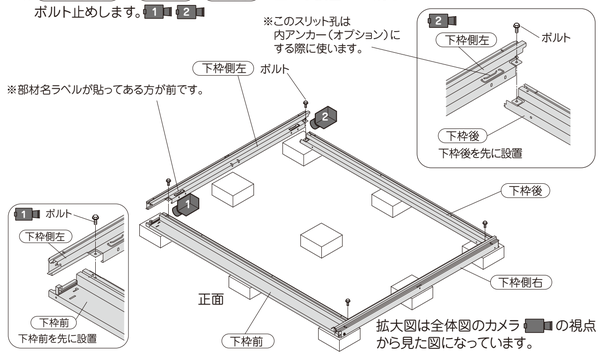
注意 床補強(オプション)を取付ける場合は、破線部のブロックの幅が変わります。オプションの組立説明書を先にご確認ください。

注意 内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。内アンカーセット(オプション)の組立説明書を先にご確認ください。

2 下枠の組立

	1811型	1815型
使用梱包	L05-0254	
使用ボルト数	LM5-0352	LM5-0353
	4本	

①(下枠前)・(下枠後)を基礎ブロックの上に設置します。
②(下枠側左右)を(下枠前)・(下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。1 2



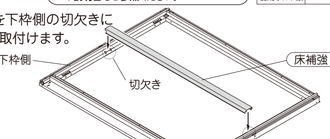
拡大図は全体図のカメラ の視点から見た図になっています。

3 床の設置

注意 内アンカーにする場合は、床を張る前にアンカー工事を行ってください。
※工事方法は内アンカーセット(オプション)の説明書をご参照ください。

	1811型		1815型	
	一般型	豪雪型	一般型	豪雪型
使用梱包	LM5-0521	L05-3521	LM5-0521	L05-3521
	LM5-0707		LM5-0714	
使用ボルト数	0本			

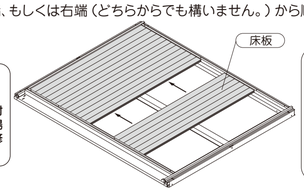
①(床補強)を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。

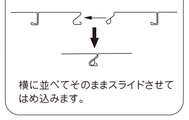


注意 床補強(オプション)を取付ける場合は、「床補強(オプション)」の組立説明書をあわせてご確認ください。

②(床板)を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べていきます。

注意 床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。



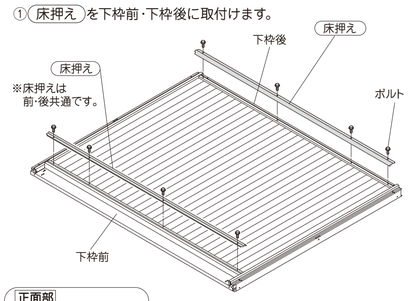


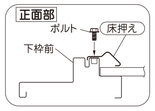
横に並べてそのままスライドさせてはめ込みます。

4 床押えの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	L05-0254	
使用ボルト数	8本	

①(床押え)を下枠前・下枠後に取付けます。





注意 後部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて取付けてください。外寄りに取り付けると間柱後・壁パネルが入りにくくなる場合があります。

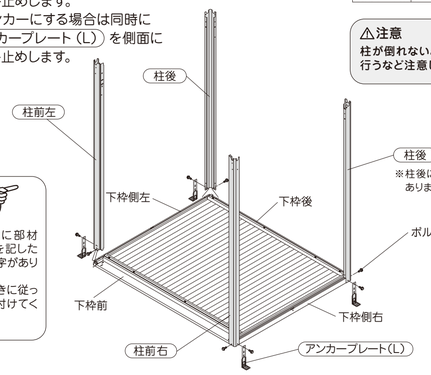
5 柱の取付け

	1811型	1815型
使用梱包	L05-0102	
	L05-0411	
使用ボルト数	8本	

①(柱前左右)・(柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時に(アンカープレート(L))を側面にボルト止めします。

⚠注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

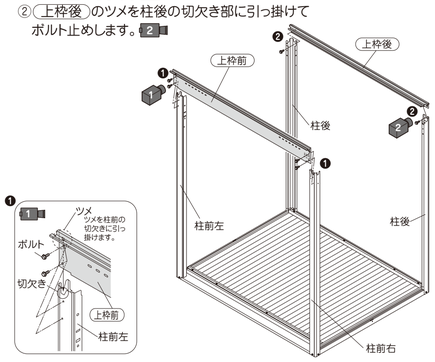
ワンポイント 柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。



6 上枠前後の取付け

	1811型	1815型	1811型	1815型
	一般型		豪雪型	
使用梱包	L05-0204		L05-0224	
使用ボルト数	6本			

①(上枠前)のツメを柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。1
②(上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。2



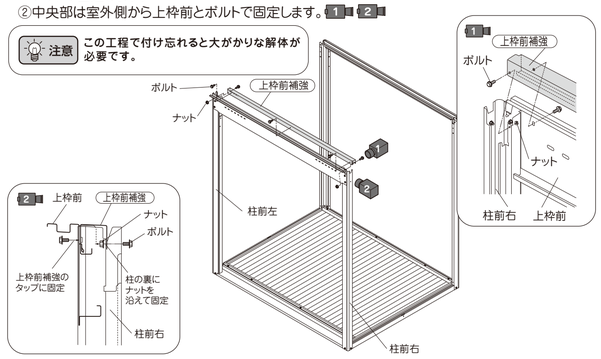
ワンポイント 上枠前は図のように柱前左右の室内側の突起に引っ掛けてから片側ずつ載せると施工が楽になります。

7 上枠前補強の取付け ●豪雪型の場合

	1811型	1815型
使用梱包	豪雪型	
	L05-0224	
使用ボルト数	5本+M6ナット2ケ	

①(上枠前補強)を室内側から柱前左右に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。
②中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。1 2

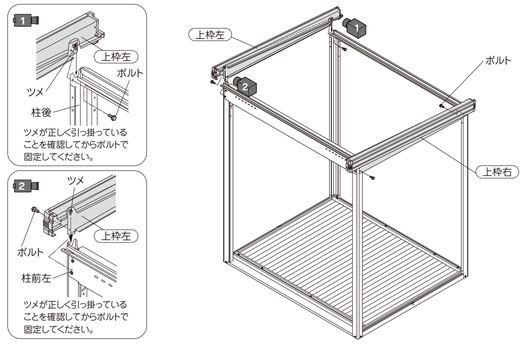
注意 この工程で付け忘れると大がかりな解体が必要です。



8 上枠左右の取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LM5-0302	LM5-0303
使用ボルト数	4本	

①(上枠左)・(上枠右)を柱に取付けます。1 2

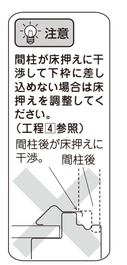


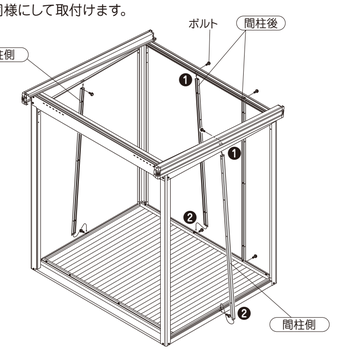
9 間柱側・後の取付け

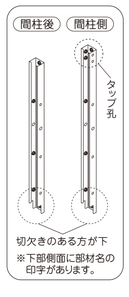
	1811型		1815型	
使用梱包	一般型	豪雪型	一般型	豪雪型
	L05-1467	L05-1487	L05-1468	L05-1488
使用ボルト数	8本			

①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
②(間柱側)も同様にして取付けます。

注意 間柱が床押えに干渉して下枠に差し込めない場合は床押えを調整してください。(工程④参照)



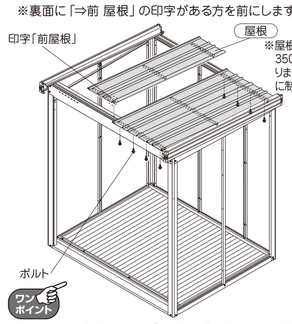




10 屋根の取付け

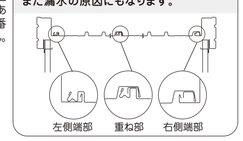
	1811型	1815型
使用梱包	LM5-0912	LM5-0923
使用ボルト数	20本	

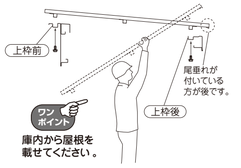
①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。
※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。



ワンポイント ボルトは仮止めにしておくと壁パネル(工程⑫)が入り易くなります。仮止めした場合は壁パネル取付け後(工程⑫)に本締めしてください。

⚠注意 屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。また漏水の原因にもなります。





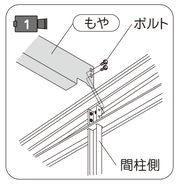
ワンポイント 庫内から屋根を載せてください。

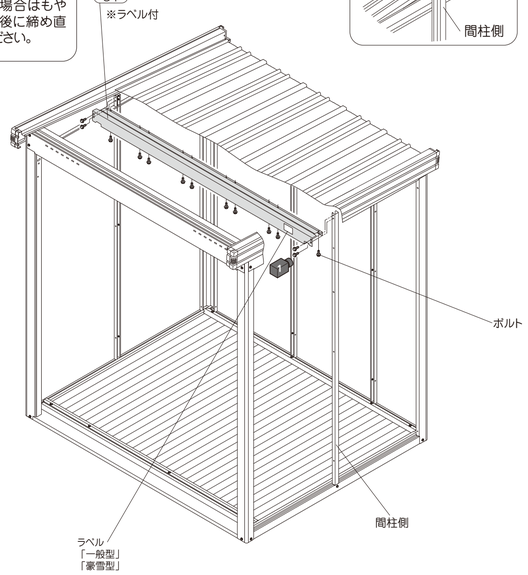
11 もやの取付け

		1811型	1815型
使用梱包	一般型	LM5-0521	
	豪雪型	LO5-3521	
使用ボルト数		14本	

①(もや)を正面から間柱側に載せてボルト止めします。1
②(もや)と屋根をボルト止めします。

ワンポイント
屋根の乳が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。
※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

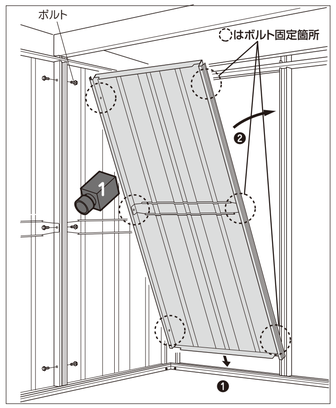




12 壁パネルの取付け

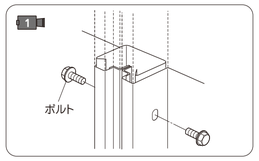
	1811型	1815型
使用梱包	LM5-1014	LM5-1013
	LM5-1031	LM5-1013
	LM5-1032	LM5-1031
使用ボルト数	36本	

①室内から(壁パネル)をはめ込みます。
(下を先に入れて上をはめ込みます。)
②柱・間柱にボルト止めします。1



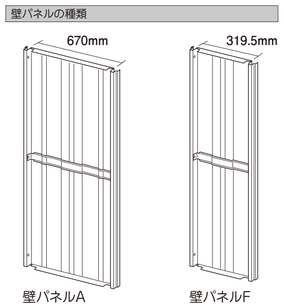
注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

ワンポイント ボルト固定乳が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。
※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。

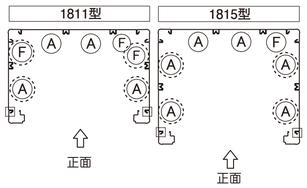


注意 壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の棚受け取付けの角乳が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

壁パネルの種類



壁パネルの取付位置



□部はボルト止めしません(工程⑲で固定します)。
◌部分のパネルが入りにくい場合は、パネルの上部をもやの切欠き部に逃げて下を先にはめ込んでください。

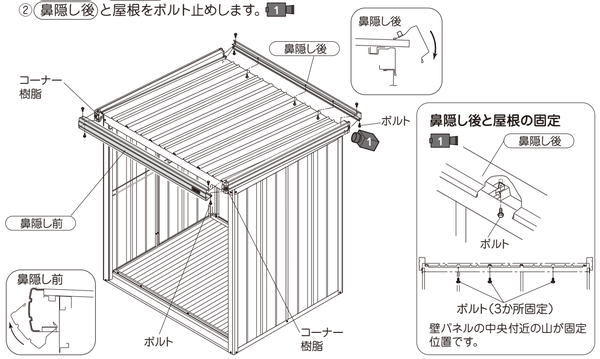
※壁パネルに上下の区別はありません。
※間仕切り部には高さの低いパネルを使用します。

13 鼻隠しの取付け

注意 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプショントイセット」の組立説明書を先にお読みください。

	1811型	1815型
使用梱包	LM5-1104	
使用ボルト数	11本	

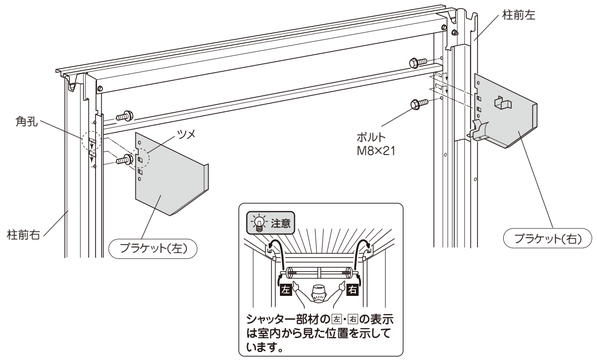
①(鼻隠し前)・(鼻隠し後)を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
②(鼻隠し後)と屋根をボルト止めします。1



14 ブラケットの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-1731	
使用ボルト数	M8×21 4本	

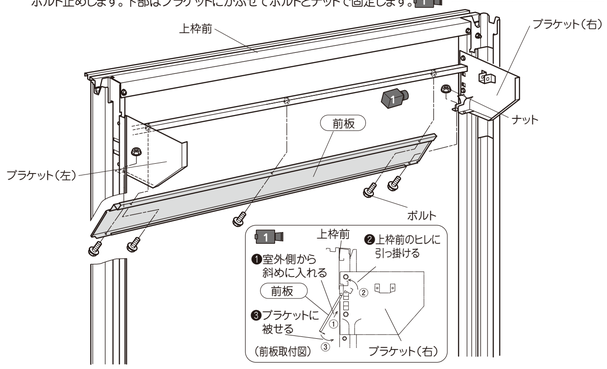
①(ブラケット左右)のツメを柱前左右の角乳部に引っ掛けてボルト止めします。



15 前板の取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-1731	
使用ボルト数	M6×15 5本	
	M6ナット 2ケ	

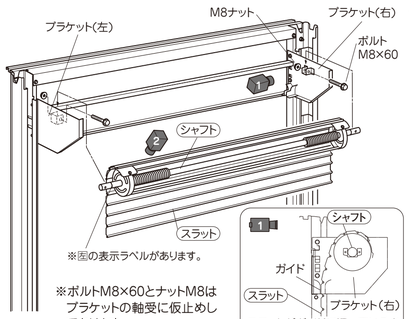
①(前板)を下図のように室外側から斜めに入れ、上部は上枠前に引っ掛けてボルト止めします。下部はブラケットにかぶせてボルトとナットで固定します。1



16 シャフトの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-1731	
	M8×60 2本	
使用ボルト数	M8ナット 2ケ	

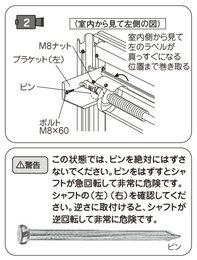
①室内側から(シャフト)を軸受に載せ、(スラット)をブラケットのガイドに通します。
(先にスラットをガイドに通してから軸受に載せても施工出来ます)



※ボルトM8×60とナットM8はブラケットの軸受に仮止めしてあります。

②シャフトの左側のラベル(左と表示)が室内側に真っ直ぐになる位置までスラットを巻き取り、巻き取った状態で軸にボルトM8×60を貫通させ、ナットM8で固定します。

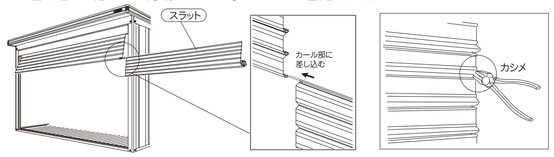
スラットがガイドに通っているか確認してください。



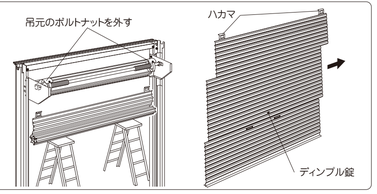
17 シャッタースラットの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-1732	
使用ボルト数	0本	

①上から(外錠付スラット)→(水切り付スラット)の順に室外側から差し込み、継ぎ目の両端をペンチ等でかしめて固定します。

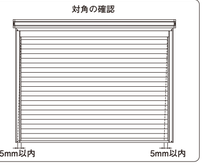


注意
スラットは、3分割されておりシャフトを取り付けた後、左(又は右)から順次差し込んで行くようになっています。差し込むスペースがない場合は、ハカマを取付けているボルトをはずし、スラットを一体にしてからシャフトに取付け直してください。



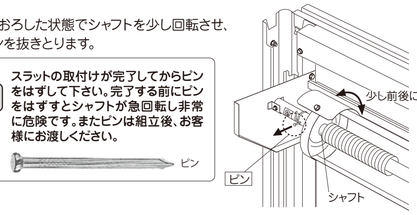
②スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。

注意
柱の傾きが5mmを越えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲフリ等で寸法の確認を必ず行ってください。尚、レール間ピッチも上下とも5mm以内で施工してください。
柱が広すぎると鍵がかからなくなるだけでなく、強風時にスラットがレールから抜ける場合があります。



③スラットをおろした状態でシャフトを少し回転させ、写真のピンを抜きとります。

⚠警告
スラットの取付けが完了してからピンをはずして下さい。完了する前にピンをはずすとシャフトが急回転し非常に危険です。またピンは組立後、お客様にお渡しください。

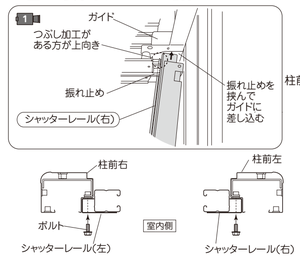


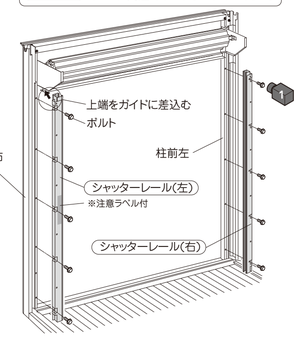
18 シャッターレールの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-1731	
使用ボルト数	10本	

①スラットをブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
②(シャッターレール)の上部(つぶし加工あり)をブラケットのガイドに差し込み、下の断面図のように柱に沿わせてボルト止めします。1
※シャッターレール(左)に貼ってある注意ラベルが正しく表示されているか確認してください。

注意 シャッターレールには上下左右がありますので、間違えないようにしてください。

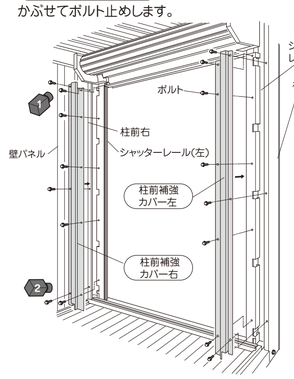


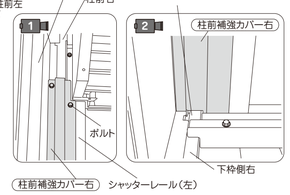


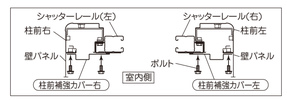
19 柱前補強カバーの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-0411	
使用ボルト数	16本	

①(柱前補強カバー左右)を柱前とシャッターレールに下図のようにかぶせてボルト止めします。





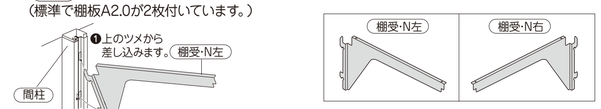


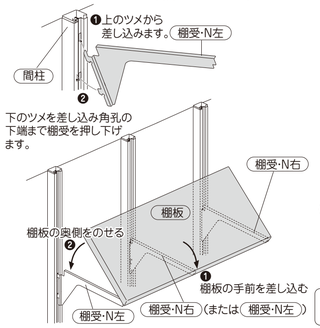
20 棚板の取付け

注意 棚板は制限重量を表示している面が正面に見えるように取付けてください。

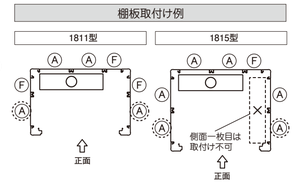
	1811型	1815型
使用梱包	LM5-1903	
使用ボルト数	0本	

①(棚受)を図の様に壁パネルの角乳に差し込みます。
②(棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。
(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)





棚板取付け例

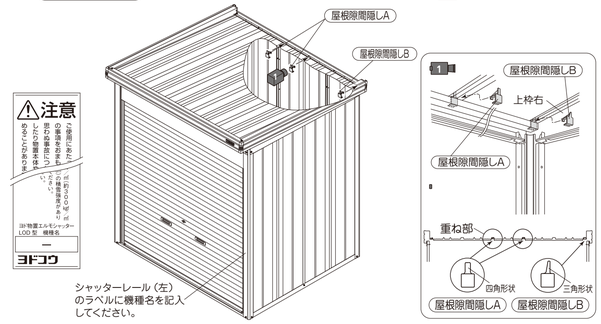


注意 ◌の壁パネルには棚受は取付け出来ません。

21 その他部品の取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-0102	
使用ボルト数	0本	

①シャッターレール(左)の注意ラベルに〝機種名〟を記入します。
②(屋根隙間隠しA)を上枠後の屋根の重ね部に、
(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。1



◌組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

	チェック欄
①シャッターがスムーズに開閉するかご確認ください。	
②鍵が正常に作動するかご確認ください。	
③棚板の配置確認をしてください。	
④**機種名が記入されたか確認してください。(シャッターレール裏面の注意・警告ラベル)**	
⑤ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。	
⑥施工業者の方は、シャッターピンと取扱説明書と保証書をお客さまにお渡ししたか確認してください。	

MEMO

お客様へ シャッターピン、取扱説明書、保証書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。

(LOD(U)-1811HF・1815HF)
ヨドコウ
淀川製鋼
(2020年A制作)